

はじめに



今日、地球温暖化問題への対応が世界全体の大きな課題となっております。

温室効果ガスの排出を低減するとともに、生活の豊かさを実感できる、いわゆる「低炭素社会」の実現が求められています。

また、大量かつ多様な廃棄物や天然資源の枯渇といった問題を生み出す大量生産・大量消費型の社会から、「循環型社会」への転換も喫緊の課題です。

本県においては、産業活動に伴う大規模な公害はほぼ改善されてきているものの、光化学オキシダント、手賀沼・印旛沼・東京湾の水質汚濁、廃棄物の不法投棄など、依然として多くの環境問題に直面しています。

美しい海や丘陵、豊かな生物など、本県の貴重な自然を次代の子どもたち、孫たちに引き継いでいくことは私たちに課された重要な使命といえます。

こうした思いから、本県では、環境政策の新たなマスタープランである「千葉県環境基本計画」を平成 20 年 3 月に策定し、これらの環境問題に対する施策を積極的に展開しています。

昭和 46 年 1 月の創刊以来、今回で第 40 回目の環境白書となる本書では、平成 20 年度を中心にした本県の環境の現状とともに、「千葉県環境基本計画」に沿った施策の実施状況を掲載いたしました。

地球環境問題から身近な環境問題に至るまで、その解決のためには、行政だけでなく、事業者の方々、そして何よりも県民の皆様が一丸となって行動していくことが不可欠です。

この白書を通じて千葉県の環境について理解を深めていただくとともに、環境保全の取組を進める上での参考としていただければ幸いです。

平成 22 年 3 月

千葉県知事 森田健作